

# せとのあさ

2011  
140号

発行 公益社団法人 青少年育成広島県民会議

〒730-8511 広島市中区基町10-52 県庁県民活動課内  
TEL.082-513-2742 FAX.082-511-2173  
<http://www.hiro-payd.or.jp>



平成22年度「家庭の日」に関する特選図画

広島市立吉島小学校1年(当時) <sup>うえさか</sup> <sup>ななみ</sup> 上坂 菜々美  
菜々美さんからのコメント「夏休みに、家族でラジオ体操をしました。」

みんなであいさつ  
声かけを!!



青少年育成情報ネット

ゆっぴーネット

で検索できます♪



# 青少年育成の基本指針

(昭和52年6月1日青少年育成広島県民会議制定)

## 〈 前 文 〉

「青少年は日本の希望である」という言葉は、われわれの心を支えている標語である。ところが、青少年の非行が問題になると、明確な実施効果の見定めもつかぬままに、条例や法律の制定に期待の高まるのが実状である。しかし、青少年の非行が大人の生活の反映であるとするれば、青少年の健全育成は、大人の反省なしには実現しないであろう。大人がかつて青少年であったように、青少年はやがて大人になるのである。人間の生涯は、多様な価値観の個性的選択による自己教育の連続であるといえよう。

ここに制定された青少年育成の基本指針は、ただ青少年育成のあり方を抽象的に示したものに過ぎない。それは、各地域の実状に応じて具体化されることが期待される。総括的にいえば、資源の乏しさを克服して、相当高い生活水準に到達している現代日本において、青少年は将来どのような展望をもって進んだらよいか、これが最大の課題である。

われわれは、青少年の前途に幸福の「青い鳥」の夢を託したい。



## 青少年育成の基本指針

- 個人** 1 個性の独自性に対する自覚にもとづき、その価値可能性を錬磨し、生涯教育の基礎をつくる。
- 社会** 1 家庭の愛情にはぐくまれ、社会生活において、友情と連帯の意識を養う。
- 自然** 1 国土の自然を愛護するとともに、地域社会の文化を尊重し、環境の教育的整備につとめる。
- 世界** 1 諸民族の生活と文化を理解し、平和と親善の心をこめて、国際交流に寄与する。
- 総括** 1 日々の生活のなかに、生きがいを求めてわが道を行き、一隅を照らす光となる。



## 役員

平成23年4月1日付けで公益社団法人に移行しました。

(平成23年6月15日付)

会 長	上田 宗岡	上田宗箇流家元
副 会 長	打越 勲	広島市青少年健全育成連絡協議会会長
常務理事	山内 吉治	青少年育成東広島市民会議会長
理 事	福原 治	(公社) 青少年育成広島県民会議事務局長
	吉川 水貴	NPO法人青少年サポートクラブ理事長
	嶋末 初美	(公社) 青少年育成広島県民会議前常務理事
	山城 滋	中国新聞社論説委員会論説主幹
監 事	山元 利成	広島県青少年育成アドバイザー協議会会長
	末本 朱美	税理士
	三好 久美子	余暇生活開発士

## 講演要旨

# 日々ごゆだんなきよう

～青少年育成の基本指針から～

講師

公益社団法人青少年育成広島県民会議会長  
茶道上田宗箇流十六代目家元

上田 宗箇



今日は皆さん、お忙しい中を総会にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

皆さまがお持ちの資料に、青少年育成広島県民会議初代会長の皇 至道氏によって起草された青少年育成広島県民会議の基本指針がございます。昭和52年6月1日に制定されたものですが、この文章のすばらしさは普遍的なものであり、皇先生が教育の世界で日本を代表する方だと言われるのも最もであると深く思います。私は茶道という伝統的な仕事をしておりますので、この文章を文化の視点から捉えお話ししたいと思っております。

皇先生の著書に『過去集』という名言集がありますが、その本の中で先生は「過去の名言はすばらしい。その文章は日本語のエキスのように美しく、深く、そして味わい深い」と説いておられました。子どもたちが繰り返し名言を読み、あるいは書くことによって、深い人間性を身につけるといふようなことをおっしゃっています。

実は私どものような伝統文化もそうですし、皆さんもおそらく毎日朝「おはようございます」とか「こんにちは」とか「おやすみなさい」という時の、朝の「おはようございます」の一言で、実はその日の相手の状況がわかります。顔と声で大体わかります。決まり切った言葉というのは、味がないというふうに捉える方がいらっしゃるのですが、実は決まり切った言葉だからこそ、深くその人の人間性が出てくるのです。私どもの世界で言いますと、「一服差し上げます」とか、「お服は加減いかがですか?」「どうぞお楽に」「お先にちょうだいいたします」「結構にちょうだいいたしました」という慣用句というのは、本当にその人がおざなりに言っているのか、心を込めて言っているのか、その日の状態がどうなのか、手に取るようにわかるんです。なぜ決まり切った言葉を繰り返し伝えることに意味があるのか私なりの想いを語らせていただきます。

「青少年育成の基本指針」で、「個人」というところに皇先生がこういふふうにかかれておられます。「個性の独自性に対する自覚にもとづき、その価値可能性を錬磨し、生涯教育の基礎をつくる」。自分の能力の独自性に気がついたら、それを磨きなさいということです。繰り返し繰り返し磨くことによって、それが自分の生涯の基礎になるんですよ。いくらかの可能性、いくらかの能力は誰にでもあるわけで、それを自分が自覚して磨かなければだめだということです。

能役者に大切なことは、初心を忘れてはいけないということ。初心には三つあり、一つは何かと言いますと、是非の初心忘るべからず。能役者が10代のまだ声変わりのあるような時に初舞台を踏む。しばらくは無我夢中で一生懸命だ。ところがこの「無我夢中」というのは、20代、30代では当然続かない。ではその時どうするのか。それは、その時の舞台の役者に花があるのは何かというと、「時々の初心、忘るべからず」。こういうとても良い言葉を使うんです。おそらく創意工夫なんだと思います。この次の舞台はどう踏もうか、この次の一年先の舞台は、半年先は、ひと月先は、明日はどうしよう。これは何の仕事でも言えます。そういう10代、20代、30代、40代を経ると、人生50年ですから、50になった時には、その人が能舞台に立ったら「古木に花が咲きたる如く」、これはとても名文句ですけれども、古木に花が咲いたように、その人が舞台にいて、わずか1メートルでも動けば、それに花が咲いている。それこそが行き着くところなのだ。そして人間は無限に成長していくのだ。それを「老の初心忘るべからず」、こう言います。

日本文化はやはりそういう点では「老」の文化なんです。だから「生涯教育」というのは、日本人に最もふさわしいと僕は思います。



次に「社会」なのですが、「家庭の愛情にはくぐまれ、社会生活において、友情と連帯の意識を養う」。今から30年前に比べて、ご両親が共に働かれるとか、一人だけでお子さんを育てる方が随分増えたように思います。そういった社会的状況の中で、家庭の愛情をどうするかということは非常に大きな問題です。私たち日本人は自然崇拝という神道の部分があるのですが、春夏秋冬の中に何か大きな自分たちを超える大きなものを見る、そういう宗教観なのだと思うんです。

共に歩む、友情と連帯とおっしゃっていますが、そこの部分をどうするかという場合に、やはりご家庭の中で子どもに対して春夏秋冬の催事、ささやかでもお正月、お雛さん、あるいは端午の節句、重陽の節句、五節句というものを是非子どもたちにしてあげていただきたいなと思います。春夏秋冬の中で、それぞれの家庭の子どもたちをどう育てていくかということとはとても大事だと思います。500年前に茶の湯も新しく萌芽しました。その時に村田珠光という人が、茶の湯の祖と言われています。この人が「心のふみ」というわずか260余字の短い文章を残しているのですが、これはとても深いものです。何を言っているかと申しますと、上から引く張っちゃダメなんですよ。お茶を習う時に、自分よりうまい人のことは嫉妬し、あるいは初心者、下手な人を馬鹿にするなんてとんでもないことである。言語道断である。自分よりうまい人のそばに行って少しでも吸収しなさい。感心するその心が大事です。初心者の人、下手な人には、そばに行って手を差し延べて、共に上がってきなさい。これが日本の教育の原点なのだと思います。共に歩む連帯して共に歩いていく、そして共に育っていくというのがわれわれの文化です。友情と連携をもって共に歩いていって、友人ですばらしい人がいたら、そばに行って、少しでも感心して吸収して、半歩でも一歩でも成長していくというのがやはり原点なのだろうと思っています。

次に「自然」ですけれども、「国土の自然を愛護するとともに、地域社会の文化を尊重し、環境の教育的整備につとめる」とあります。地域の文化はとても大事でございます。地域には必ず歴史があります。歴史には必ず文化があります。私が大好きな言葉に「地霊」という言葉があります。地の魂。これは中国の言葉なのですが、それぞれの地域には地域の霊魂が宿っている。これは我々日本人には地域文化です。地域の文化こそがその地域の魂なんです。それはどういうことかと言いますと、その地域の大人にも子どもにもその地域に対する自信を呼ぶし誇りを呼ぶわけでありまして、一番大事なものは、地域に対する誇りと自信なんです。それは何かと云ったらやはり地域文化であります。それをどういうふうにして、それぞれが磨いていたり掘り起こしたり、被爆でなくなったものを、100年以上前のものを再現したり、そういうことをいかに熱い想いでやっていくかということなんです。

最後に「総括」のところのお話をさせていただきます。「日々の生活のなかに、生きがい求めてわが道を行き、一隅を照らす光となる」。この「一隅を照らす」にはどうしたら良いかということ、自分なりに話をさせていただきたいと思っております。

今の日本人が一番欠けているのは「心の静けさ」だと思います。私の先祖の上田宗箇という人は、亡くなってから360年ぐらいですが、晩年に彼が語った言葉が残っておりまして、「茶の湯における楽しむところは静清」。なぜ静かな心が大事かということ、静かな気持ちで自分一人がそこに座っていると、やはり人間って目が自分に向くんです。そうしますと、自然に謙虚になります。どうしても社会では目を相手に向けて、相手を攻撃するようになりますけれども、静けさの中では目が自分に向くものですから、その時は自分の姿が謙虚になっているんです。

社会で傷つけたり傷つけられたりして、想いもしないことで自分が被害者になったり、あるいは加害者になったり。その悩む自分をどう収めるかと思ったら、やはり静かな空間しかないんです。その静かな空間を家庭の中でどう作るか。日常の中で。わずか一畳でも二畳でもどう作るかということなんです。それは大人もそうですし、子どもにもその空間をどう作ってやるかということなんです。静かな心なんです。静けさがないと、やはり人間は自分の心が見えなくなるんです。落ち着かなくなる。それこそ自分がどんどん攻撃的になり、片方では攻撃的になりながら自信が無くなるわけです。

実は一番気になりますのは座るといことであります。日本人が今、立つでもなく座るでもない生活というのがとても気になります。姿勢が良くないと呼吸が出ないんです。呼吸が出ないと人間は、おなかが定まらない。いわゆる「丹田」と言いますが、おなかが定まらないんです。定まらないと、常に精神が落ち着きません。やはり背筋がスーッと伸びてないと、大気の「気」が入って来れないんです。立つこともちゃんと習っていませんから、腰掛けの中でもきれいに姿勢が伸ばせない。そうかということ、地べたに座った時もうまくいかない。

それをどういうふう家庭の中で取り込み、あるいは地域や学校で取り込んで子どもがちゃんと呼吸を出せるような状況をどう作ってあげるか、それがすごく大きいと思います。そのことを我々はどう対処するのかということが全てのところから抜けているんです。それがとても気になるものですから、ここは私の仕事の中で、いろいろ提言をしていかなければいけないなと思っています。



# 平成23年度 事業計画

## 活動方針

子どもたちが夢を持ち、健やかに成長し、自分を育んだ地域を愛し、社会への奉仕者・貢献者となることは私たちの願いです。その願いを実現するために市町民会議をはじめとした関係団体と連携を図り、継続して取り組んでいきます。

青少年育成事業	▶ 夢配達人プロジェクト推進事業 (P6) ▶ 「少年の主張」・中学生活し方大会 (P6)
人材育成事業	▶ 青少年育成カレッジ (P7) ▶ 市民セミナー
関係団体支援事業	▶ 青少年指導者派遣事業 ▶ 県民運動推進助成事業 ▶ 市町民会議ネットワーク研究・交流会 ▶ 地域リーダーによる青少年対策環境モニター調査
啓発事業	▶ 青少年育成県民運動推進大会 (裏表紙) ▶ あいさつ・声かけ運動 ▶ 明るい家庭の日運動 (表紙)
情報発信事業	▶ 県民会議ホームページ ▶ 青少年育成情報ネット「ゆっぴーネット」 ▶ 機関紙「せとのあさ」 ▶ 情報誌「はぐくむ」
表彰事業	▶ 青少年育成広島県民会議表彰 (P5)

## 青少年育成広島県民会議表彰

優れた行為のあった青少年や地域で自主的な活動を積極的に続けている青少年育成功労者及び団体を表彰しています。平成23年度青少年育成広島県民会議表彰を受賞された皆様です。(敬称略)



### 青少年

高東 瑠莉 (三原市) 箕西 文音 (三原市)

### 青少年育成功労者

新谷 真理子  
(広島市中区)

堤 静枝  
(広島市中区)

山本 佳宏  
(広島市中区)

山中 春記  
(広島市東区)

小山 幸子  
(広島市南区)

立木 悟  
(広島市南区)

中光 忠市  
(広島市南区)

河野 博光  
(広島市西区)

武田 民政  
(広島市西区)

岡崎 常雄  
(広島市安佐南区)

小倉 義政  
(広島市安佐南区)

河上 洋子  
(広島市安佐南区)

佐々木 正義  
(広島市安佐南区)

田代 恭子  
(広島市安佐南区)

田原 忠之助  
(広島市安佐南区)

野中 則子  
(広島市安佐南区)

森本 忠司  
(広島市安佐南区)

山口 徳夫  
(広島市安佐南区)

東 恵子  
(広島市安佐北区)

増井 紘一  
(広島市安佐北区)

植田 道貞  
(広島市安芸区)

角山 直子  
(広島市安芸区)

西廻 深雪  
(広島市安芸区)

石本 瑠里子  
(広島市佐伯区)

咲花 富美子  
(広島市佐伯区)

沼村 光明  
(広島市佐伯区)

橋本 貢  
(広島市佐伯区)

藤原 研悟  
(呉市)

赤松 由通  
(尾道市)

板原 陽子  
(尾道市)

林 清春  
(尾道市)

村上 治  
(尾道市)

和木 典之  
(尾道市)

岩原 清  
(福山市)

高橋千賀子  
(府中市)

門田 寛  
(府中市)

藤井 健  
(三次市)

前原 俊五  
(三次市)

富士枝 勇雄  
(廿日市市)

前田 頼雄  
(廿日市市)

横路 昭恵  
(廿日市市)

宮田 克也  
(安芸高田市)

森田 憲二  
(山県郡北広島町)

### 青少年育成功労団体

牛田剣道スポーツ少年団  
(広島市東区)

川口スポーツ少年団  
(広島市安佐南区)

竹とんぼの会  
(竹原市)

沼隈町はねおどり保存会  
(福山市)

明郷スイミングクラブ  
(府中市)

明郷剣道教室  
(府中市)

読み聞かせグループ  
みどりの森の絵本館  
(安芸高田市)

上條地区獅子舞保存会  
(安芸郡坂町)

西側地区獅子舞保存会  
(安芸郡坂町)

### 模範活動団体

広島文教女子大学  
附属高等学校  
ボランティア委員会  
(広島市安佐北区)

# 夢配達人プロジェクト推進事業

# 夢

平成22年度、広島県内の小学生から2,350件の応募があり、その中から次の8つの「夢」が選考されました。平成23年度、子どもたちは「夢」の実現に向けて、チャレンジしています。

## 平成22年度に選ばれた「夢」

8月6日に書道パフォーマンスを行い、平和の尊さを伝えたい。

**附小書道ガールズ**  
(広島市/広島大学附属小学校 5年生)  
なかむら もね  
代表 中村 萌音



稲を育て、その稲わらで大きなしめ縄を作りたい。

みやもと まさ なり  
**宮本 将成**  
(尾道市/長江小学校 3年生)



福山の伝統工芸品である琴を作り、たくさんの人に聞いてもらいたい。

かわ さき じゅん の すけ  
**川崎 淳之介**  
(福山市/鞆小学校 5年生)



手作りのペープサート(紙人形劇)を通じて、地域を元気にしたい。

**キラキラ二年生**  
(廿日市市/玖島小学校 2年生)  
まさき れん  
代表 正木 蓮



電池で走る車を作りたい。

おか ひら さ おり  
**岡平 早織**  
(熊野町/熊野第四小学校 4年生)



江田島の名物を使ったお菓子を作りたい。

くろ こ すず か  
**黒小 涼花**  
(江田島市/中町小学校 3年生)



影絵の劇で、みんなに楽しんでもらいたい。

**ニコニコえがお**  
(坂町/坂小学校 3年生) 代表 みつ井 みづき  
光井 満月



広島の大瀬伝馬と長崎のペーロンとで競漕して、大崎上島を平和の島にしたい。

しょう で なな せ  
**正出 七瀬** (大崎上島町/東野小学校 5年生)



## 「少年の主張」・中学生話し方広島大会

自由  
聴講

- 内容** 中学生が日ごろ思っていることや考えていることを発表します。
- 日時** 9月23日(金) 9:30~16:00
- 対象者** 県内の中学生
- 会場** エソール広島 広島市中区富士見町11-6 TEL.082-242-5252
- 表彰** 広島県知事賞・(公社)青少年育成広島県民会議会長賞・広島県中学校話し方連盟会長賞・国際ソロプチミスト広島会長賞・広島清流ライオンズクラブ会長賞(各1名)、優秀賞(6名程度)および優良賞を選考し賞状を贈ります。
- 副賞** この大会で、広島県知事賞、青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞、国際ソロプチミスト広島会長賞を受賞した5名には、副賞(約1週間の海外研修)が(財)広島青少年文化センターから授与されます。
- 時期** 平成24年8月上旬予定 **訪問先** 韓国
- その他** この大会で、県知事賞を受賞した者を、独立行政法人国立青少年教育振興機構主催の「少年の主張」全国大会(11月13日(日)東京で開催)への出場候補者として推薦します。

# 青少年育成カレッジ事業（総合講座）

受講料  
無料

会場 県立広島大学広島キャンパス（広島市南区宇品東1-1-71）

広く青少年に関わる活動や仕事をしている人、青少年育成活動に関心のある方、受講してみませんか。

## 第1回総合講座 思春期・青年期と不適応 2011年11月12日(土)10:00～

思春期・青年期は、子どもから大人へと移行していく時期です。からだやこころの変化にともない、周囲とのかかわり方も変わってきます。変化には不安定さが伴い、時には心理的・社会的不適応というかたちで表れてきます。本講座では、思春期・青年期に発生する不適応について理解を深め、対応について学びます。

## 第2回総合講座 子どもたちの“居場所” 2012年2月18日(土)10:00～

現在、子どもたちは「三間（時間・空間・仲間）」を喪失したと言われていています。実際、地域で放課後に子どもたちだけで遊ぶ光景は珍しくなってきました。また、学校でも家庭でも居場所がないと感じている子どもも少なくありません。社会の一員としての成長を保障する意味からも、子どもたちが安全・快適に過ごせる居場所が求められています。本講座では、「居場所」の定義・意義・実際などを通し、「居場所」づくりのあり方を考えていきます。

### ご厚情に感謝申し上げます。

当県民会議の事業に寄付や協賛金をいただいた個人、団体、企業をご紹介します。（敬称略・順不同）

#### 個人

熊田 富郎

#### 団体

- 広島県遊技業協同組合
- 国際ソロプチミスト広島
- 広島清流ライオンズクラブ
- 広島ロータリークラブ
- 広島南ロータリークラブ
- 広島東ロータリークラブ
- 広島東南ロータリークラブ
- 広島北ロータリークラブ
- 広島西ロータリークラブ
- 広島中央ロータリークラブ
- 広島陵北ロータリークラブ
- 広島安芸ロータリークラブ
- 広島城南ロータリークラブ
- 広島廿日市ロータリークラブ
- 広島安佐ロータリークラブ

#### 企業

全日本空輸株式会社(ANA)

### お願い

会員の皆様には引き続き会費を納入いただき深く感謝申し上げます。未永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。新規会員も募集しておりますのでよろしく申し上げます。

#### ●賛助会員（年会費1口）

個人 1,000円 団体 10,000円

#### ●正会員（年会費1口）

個人 3,000円 団体 5,000円

#### 銀行振込口座（銀行振込の場合）

広島銀行県庁支店 普通預金 0233251  
(社)青少年育成広島県民会議

### ご報告

平成23年6月15日に開催した総会において「東日本大震災で親を亡くした子どもたちに通学の夢と心のケアを届ける募金」活動を行ったところ、金23,765円のご協力がありました。ここにご報告申し上げますとともに、本年度中に10万円のご加算をして「あしなが東日本大震災・津波遺児募金」に寄付する予定です。



平成23年度 青少年育成県民運動推進大会

# 講演会 テーマ わたしの家族

入場無料

とき 平成23年10月8日(土) 13:00～

ところ 広島県民文化センター 多目的ホール  
広島市中区大手町1-5-3 TEL.082-245-2311



講師

シンクロスイマー／ピラティスインストラクター

武田 美保 miho takeda

プロフィール

1976年生まれ。5歳から水泳を始め、7歳からシンクロコースに転向する。13歳の時に井村シンクロクラブに移籍し、ジュニアの日本代表に入る。17歳でナショナルA代表となり、1997年よりデュエットに取り組み、日本選手権7連覇を達成する。2001年世界水泳チームデュエットで金メダルを獲得し、アトランタ、シドニー、アテネの3つのオリンピックで、銀・銅合わせて5つのメダルを獲得する。引退後、テレビ・CM出演、講演、イベントなど様々なジャンルで活躍。また、アメリカでピラティスインストラクターの公認資格も取得し、新たなジャンルにも挑戦している。

主な戦歴

1991年 ジュニア世界選手権(チーム1位)/1994年 世界選手権(チーム3位)  
/1996年 アトランタオリンピック(チーム銅メダル)/1997年 FINAワールドカップ  
(デュエット・チーム2位)/1998年 世界選手権(デュエット・チーム2位) (アジア大会  
デュエット1位)/1999年 FINAワールドカップ(デュエット・チーム2位)/2000年  
シドニーオリンピック(デュエット・チーム銀メダル)/2001年 世界選手権(デュエッ  
ト1位)/2002年 FINAワールドカップ(デュエット2位) (アジア大会デュエット1位)  
/2003年 世界選手権(デュエット・チーム2位)/2004年 アテネオリンピック(デュ  
エット・チーム銀メダル)

## ◎大会プログラム

13:00	開会 青少年健全育成成功労者等県知事表彰 「家庭の日」に関する作品の県知事表彰
13:45	わたしたちの活動発表 ～夢配達人プロジェクト 推進事業から～ ●「私たちが製作した琴で演奏します」 福山市立鞆小学校
14:20	講演会 「わたしの家族」〈講師〉武田 美保
15:40	閉会

会場展示

- 「電池自動車を製作しました!!」  
安芸郡熊野町立熊野第四小学校

DVD上映

- 「広島と長崎の和船で交流したい」  
豊田郡大崎上島町立東野小学校

主催

公益社団法人 青少年育成広島県民会議

(お問い合わせ) TEL.082-513-2742